

# 足利市の2022年 をふりかえる。



●市制100周年記念事業「タイムカプセル2031」実施  
●(株)コーエーテクモホールディングスとの包括連携協定に基づきゲーム制作を学ぶ『まちの先生』を開催

●第8次総合計画を策定  
●足利市SDGs推進本部を設置  
●第1回足利市民会館を考える市民ワークショップを開催  
●令和3年の西宮林野火災で課題となった情報伝達手段強化のため、ふるさと足利応援寄附金を活用し、消防署活系無線機95台と消防団携帯型受令機24台を配備

●鎌倉市と姉妹都市締結40周年を迎える  
●全国初となる『足利市の美しい山林を火災から守る条例』を制定  
●ネーミングライツ・パートナーが決定し、市有9施設の愛称使用開始  
●松田川ダムふれあい広場が『RECAMP足利』として運営開始  
●足利サイクルツーリズム推進事業をスタート  
●旧大久保分校跡がスタートアップミュージアム『つくりえーTSUCULIEE』としてオープン

## 6月 5月 4月 3月 2月 1月

●1市制100周年記念式典を開催  
●市立美術館で市制100周年記念特別展『戦国武将 足利長尾の武と美』を開催し、約2万6千人が来訪  
●インターネットチャットで通報ができる『Net119緊急通報システム』の運用開始  
●ふるさと足利応援寄附金で購入した消防資機材で消防放水活動訓練を実施  
●春の交通安全運動に向け公募した交通安全キャッチフレーズと(株)コーエーテクモホールディングスのゲーム『信長の野望・新生』のデザインを使用したポスターが完成



●9地元の高校生で結成した『あしもり隊』2代目チームが誕生  
●いちご一会とちぎ国体デモンストレーションスポーツ(パークゴルフ)を開催

●いちご一会とちぎ国体デモンストレーションスポーツ(スポーツウエルネス吹矢)を開催  
●10史跡足利学校の参道発掘調査により旧参道や小土手石垣の跡などを発見





- 『あしかがの歴史と文化 再発見!』展を開催し、かつて榊崎寺に安置されていた大日如来坐像が32年ぶりに本市で展示
- AeroEdge(株)所属の徳永昌宣さんが市のDX推進のためCIO補佐官に就任
- 移住・定住相談センターが東武足利市駅構内に移転し『En no sita(燕のした)』としてオープン
- 第一生命保険(株)との包括連携協定に基づき市立中学校で消費者教育の授業を実施
- 防災情報電話「斉伝達システム」運用開始
- いちご一会とちぎ国体の炬火きよめイベントが開催され、足利市の火の名称が『歴史と文化と花のまち未来へつなぐ希望の火』に決定
- 3年ぶりに足利尊氏公マラソン大会開催
- 中橋架替工事起工式を開催
- VeloAstikagaサイクルフェスタ開催
- 3年ぶりに西宮神社の恵比寿講が開催
- 足利市オンライン申請システムを導入
- 斎場の建て替え工事に伴い仮設斎場の運営開始



12月 11月 10月 9月 8月 7月

- 3年ぶりに足利花火大会を開催
- みどりと文化・スポーツ財団が有楽公園に猛暑対策としてミストシャワーを設置
- 足利市部活動指導員・外部指導者登録バンクの設置・募集を開始
- 15とちぎ結婚支援センター足利を民間事業者へ委託し、ニューミヤコホテル内でリニューアルスタート
- 16第1回足利狂言『万作・萬斎の会』開催
- 17(仮称)足利スマートインターチェンジの新規事業化が国土交通省から発表
- いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会開催
- 史跡足利学校の一部業務を足利市観光協会へ委託
- 秋の火災予防運動に向け公募した山林火災防止キャッチフレーズと(株)コーエーテクモホールディングスのゲーム『信長の野望・新生』のデザインを使用したポスターなど完成
- 史跡足利学校参観料、市立美術館観覧料、クリーン推進課窓口での指定ごみ袋代金の支払いにスマホ決済導入
- 市有2施設のネーミングライツ・パートナーが追加で決定

